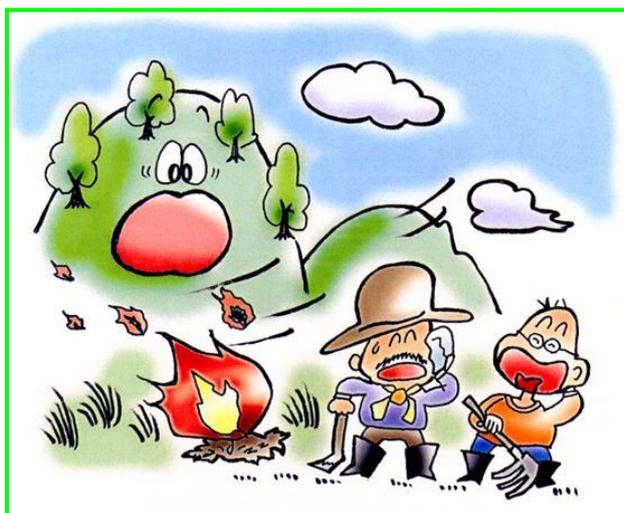


山の緑を火災から守ろう！

山火事はいったん発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失してしまいます。

これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾いている日や風が強い日には、たき火や野焼きをしないなど、火の取り扱いには十分な注意をしましょう。



- やむを得ずたき火を行う場合は、最寄りの消防署に連絡するとともに、消火準備を行い、そばを離れない。
- 空気が乾燥したり、強風時には、たき火は自粛する。

- たばこの吸い殻は、確実に後始末を行う。
- 灰皿のないところでは、喫煙はしない。



京都市消防局・北消防署・北消防団